

函館市立駒場小学校

昭和47年度

通知票

第6学年 2組

児童 重 XXXXXXXXXX

校長 深 沢 剛

担任 大橋 智子

担任	I			II
	学 習	学 習	おこない	学習・おこない
担任	大橋	大橋	大橋	大橋
指導者	大橋	大橋	大橋	大橋

出 欠 席 の よ う す

区別	出席日数	出席率	欠席日数	欠席率	出席日数	出席率	備 考
4	20		20		20		
5	25		25	2	23		旅行
6	25		25	1	24		発熱
7	21		21		21		
8	10		10		10		
9	24		24	1	23		かぜ
10	25		25		25		
11	24		24		24		
12	20		20		20		
1	11		11		11		
2	24		24	1	23		かぜ
3	15		15		15		
計	244		244	3	237		

修 了 証

本学年の課程を修了したことを証する

昭和48年3月24日

函館市立駒場小学校長 深 沢 剛



身 体 の 状 況 (昭和47年4月)

身長 (cm)	142.0	色 種		寄生虫類	
体重 (kg)	31.4	聴 力	右	その他の疾病 及び異常	
胸囲 (cm)	67.5		左		
坐高 (cm)	75.3	屈 視		フベックラン	陰 性
視覚検査			近視		
せき 咳		近視		反 応	○ 陽 性
胸 かく		近視		B.C.G接種	月 日
視 力	右	1.2	近視	6	4月12日
	左	1.0	近視	6	4月12日

指導事項	
学 科	国 語 算 数 科 理 科 生 活 科 道 徳 科 音楽 科 美術 科 体育 科
校 科	下 田 規 正 学校薬剤師 松 谷 実
医 科	耳鼻咽喉科 富 西 善 一 郎

発 育 の 函 館 市 平 均 (昭和48年度)

区別	身 長 (cm)		体 重 (kg)		胸 囲 (cm)		坐 高 (cm)	
	男	女	男	女	男	女	男	女
6	115.3	114.0	20.7	20.0	58.2	56.6	64.4	63.8
7	120.7	118.2	22.9	22.5	59.8	58.3	65.9	65.5
8	126.0	125.1	25.5	24.3	62.1	60.7	68.1	67.0
9	130.8	130.5	28.4	27.9	64.7	63.1	71.6	71.4
10	136.2	137.3	31.2	32.2	66.6	66.8	73.6	74.5
11	141.1	143.5	35.1	36.5	69.4	69.8	76.0	77.4
12	146.1	148.1	38.4	40.5	72.1	73.4	79.2	80.8

おこないのようす

項目	観 点	前 期	後 期
		よ い こと が多い	よ い こと が多い
健康・安全の習慣	健康に留意し、進んで安全に心がける。		
	自他の生命を尊重する。		
礼 儀	時と場に応じて、服装・言動・動作などを適切にする。		
	まごころをもつて人に接する。		
自 主 性	自分が正しいと信ずることに思い、はっきりと意見を述べ、行動する。		
	自分で計画し、進んで実行する。		
責 任 感	自分の責務に責任をもつことができる。		
	自分のなすべき仕事は、誠意をもって果敢に果たす。		
積 累 感	正しい目標の実現のためには、出陣に附えて、最後までやりとおす。		
	おぼり積くしごとをする。		
創 意 的 発 想	探求的な態度をもち、進んで新しい考えや方法を生みだそうとする。		
	進んで、生活をよりよくしようとする。		
情 緒 の 安 定	一時的な衝動をおさえ、おちついて行動する。		
	なごやかな気持ちで、明るく生活する。		
協 力 性	人の気持ちや立場を理解し、支えたり励ましたりすることをする。		
	お互いの生活の向上のために、進んで協力する。		
公 正 さ	正義を愛し、誘惑に負けないで行動する。		
	自分のつごうや利害にとらわれず、公平にふるまう。		
公 共 心	公共物を正しく利用し、きまりを守って、他に迷惑をかけない。		
	進んで、公共のためになるしごとをする。		
備 考			

学 習 の よ う す

評 定		用 見													
教科	I	II	III	項 目	番 号	観 点	I			II			III		
							よく できる	大體 できる	努力 して いい	よく できる	大體 できる	努力 して いい	よく できる	大體 できる	努力 して いい
国 語	4	4	4	聞くこと	1	人の話を自分の意見と比べながら聞くことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					2	事実と意見を区別して聞くことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				話すこと	3	事実と意見・感想とを区別して話すことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					4	目的に応じて効果的に話すことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				読むこと	5	文章を味わいながら朗読することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					6	要点をぬきだしたり、全体を要約することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					7	自分の生活や意見と比べながら読むことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				作 文 書 写	8	目的に応じ、効果的な表現で文章を書くことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					9	指示語や接続語を適切に使うことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					10	文字の形・大きさ・配列を考慮し正確に書けることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					11	毛筆で、文字の形・大きさ・書くばらばらに注意して書くことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社 会	5	5	5	知 識 理 解	1	わが国の歴史に見られるくらしの変化や人々のはたらきがわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					2	国の政治のはたらきや世界平和への願いと、世界の諸地域の特色ある生活のようすがわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				観察力や 資料活用 の能力 社会的思 考・判断	3	各種の資料を効果的に活用しながら、社会のことからやその意味を、すじみち立てて調べることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					4	社会の一員としての自覚や責任を持ち、よりよい社会のあり方が判断できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
算 数	4	4	5	知 識 理 解	1	負の数や整数・小数・分数の相互関係がわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					2	分数のかけ算・わり算の意味がわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					3	メートル法と単位の見え方がわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					4	立体図形や縮図・拡大図の意味がわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					5	比例・反比例の意味がわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				技 能	6	整数・小数・分数のいろいろな計算ができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					7	比例関係などを使って、数量を測定することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					8	体積や表面積を求めることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					9	縮図や拡大図を読んだりかいたりすることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					10	整数・小数・分数の計算に法則を使って効率的な方法がとれる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				数学的な 考 え 方	11	比例について、関数的な見方ができ、数量関係を考えることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					12	式をじょうずに使って問題を解くことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					13	ことからついて、読みよく理解したり、そこからしさを調べることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					14	複雑な文章題も、見通しを立てて手順よく解くことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理 科	4	4	4	知 識 理 解	1	生物のからだのつくりやはたらきと、生物相互の関係がわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					2	物の性質の変化やそのようすを知る。また、力・電気・光・熱量とはたらきの関係がわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					3	宇宙と地球の関係、地表や地球内部のようすがわかる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				観察・実験 の 能 力	4	生物を愛護する心をもち、成長、つくりやはたらきを観察することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					5	器具を正確に操作し実験観察した結果を説明することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					6	太陽の高度と地表の傾き、地表の変化について、系統的に観察し、結果を整理することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				科学的な 思 考	7	個々の生物を類としてまとめたり、変化を環境と関係づけてみるることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					8	電気・熱・薬品などによつて、ものの質が変わることを、原因と結果の関係で考えることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					9	正しいすじ道で得た結果から、法則や原理を見つけ、他にあってはめて考えることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○

音 楽	4 4 4	基 礎	1	ト長調(赤短調・日歌)の楽譜を楽譜・楽譜したてで理解、できる。	○	○	○	○	○	
			2	自分でくふうして作った曲を記憶することができる。	○	○	○	○	○	
			鑑 賞	3	曲の変化や統一の美しさと、演奏形態がわかり、楽しくきける。	○	○	○	○	○
				4	オーケストラの楽器、世界の有名な民衆楽器の特徴がわかる。	○	○	○	○	○
			歌 唱	5	歌詞の内容を考え、表情ゆたかに歌うことができる。	○	○	○	○	○
				6	楽しいひびきで独唱や合唱ができる。	○	○	○	○	○
			辨 楽	7	創造的に表情ゆたかな演奏をすることができる。	○	○	○	○	○
				8	音のバランスやひびきの美しさに注意して合奏できる。	○	○	○	○	○
			創 作	9	まとまりのある短い旋律を作ることができる。	○	○	○	○	○
				10	曲想や楽器の音色を生かした合奏がくふうできる。	○	○	○	○	○
図 画 工 作	3 3 3	鑑 賞	1	描き方をくふうして、個性ゆたかな表現ができる。	○	○	○	○	○	
			2	版画のよさや特色を主とし、効果的に作るこができる。	○	○	○	○	○	
			形 態 デ ザ イ ン	3	材料の性質や特色を生かし、量感のある表現ができる。	○	○	○	○	○
				4	色彩の特徴を生かし、用途にあつたデザインができる。	○	○	○	○	○
			工 作	5	役に立つものを、目的や機能に合わせて、美しく効果的に作るこができる。	○	○	○	○	○
				6	いろいろな形作品や美術品の美しさがわかる。	○	○	○	○	○
家 庭	4 4 4	理 解	1	製作用品の色に慣れ、洗濯などの整理立入られ方ができる。	○	○	○	○	○	
			2	洗濯をせよ、食事の準備が楽がマ、自身のしかたがらつく。	○	○	○	○	○	
			知 識	3	衣生活を計画的に営み、合理的にくふうできる。	○	○	○	○	○
				4	献立の必要性や、食事のしかたがくわしくわかる。	○	○	○	○	○
			解 説	5	すまじのはたかきを知り、健康にすまい方がくふうできる。	○	○	○	○	○
				6	家事と協力し、家庭の仕事をよりよくくふうし、効果的にすることができる。	○	○	○	○	○
体 育	3 3 3	運 動 の 技 術	1	からだの全身や部分を使って、力強く動き続けることができる。(体操・なわとび・すもう)	○	○	○	○	○	
			2	器械運動ができる。(鉄棒・とび箱・マット)	○	○	○	○	○	
			3	陸上運動ができる。(短距離走・持久走・障害走、リレー・走り幅とび・走り高とび)	○	○	○	○	○	
			4	雄大なボールのあつかいと、攻守をきめたゲームができる。(バドミントン・ソフトボール)	○	○	○	○	○	
			5	表現内容のすじにしたがつて創作したり、正確な動きでフォークダンスができる。	○	○	○	○	○	
			6	その他の運動(水泳・スキー・スケートなど)	○	○	○	○	○	
		実 践 的 な 高 度	7	水泳を自覚し、リーダーを中心に計画的に運動することができる。	○	○	○	○	○	
			8	勝敗の原由を反省し、選手としての態度を反省することができる。	○	○	○	○	○	
			9	健康や安全に注意して運動することができる。	○	○	○	○	○	
		保 健 に つ い て の 知 識 ・ 理 解	10	起こりやすい病気、けがや異常のあらわれ方を知りその防止や予防の方法がわかる。	○	○	○	○	○	
			11	他人や集団の健康にも気をもち、自分の自覚で責任がわかる。	○	○	○	○	○	

学 習 へ の と り く む の よ う す

項 目	観 点	I			II			III		
		よく	できる	努力を	よく	できる	努力を	よく	できる	努力を
学習に対する主体的意欲	1	自分から進んで、学習用品を準備することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	進んで学習しようとし、正しくおまてをつかむことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○
学習活動における持続性	3	自分の方で、わかるまでがんばることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	自分の考えよくらべながら、話をきき、発言することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○
学習のしかた	5	問題をよくわかん、調べたり、考えたりすることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	みんなと協力して、学習することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○
学習の成果のくふう	7	ノートや作品などをいっせつにし、学習に活用することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○

通 知 票 の み か た

- ① 評定の3は普通の段階、4はややすぐれた段階、5はすぐれた段階、2はやや劣る段階、1は劣る段階にあることを示す。
- ② 「学習のようす」の所見、「学習へのとりくみのようす」「おこないのようす」の()は、各観点に示された内容について、学校での子どものようすを示す。
- ③ 各項目で、よかつたところはこれからものぼし、努力してほしいところは子どもとともに話し合い、これからどうしていけばよいかをみつけたすことに役立ててください。

備	
考	